

様式 1 - 6 号 ( 評価項目算定用 )

宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合に係る誓約書

工事名

---

施工場所

---

開札日 令和 年 月 日

入札番号 NO. \_\_\_\_\_

上記工事を受注した際には、元請と 1 次下請における宇都宮市内に本店を  
有する事業者の施工割合を \_\_\_\_\_ % 以上とすることを誓約いたします。

なお、不履行の際にはいかなる措置を受けましても異論ありません。

令和 年 月 日

( あて先 ) 宇都宮市長 佐藤 栄一

建設共同企業体

( 代表者 )

( 構成員 )

(注)

- 1 元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合は、下記の例により算出する(金額は消費税を含む)。

請負金額：1,000万円

| 元請  | 1次下請  | 2次下請            |
|---|---|-----------------|
| <b>A社(市内本店事業者)</b><br>請負額 A 1,000万円<br>下請額 A 800万円<br>施工額 A =A - A <b>200万円</b> | <b>B社(市内本店事業者)</b><br>請負額 B 500万円<br>下請額 B 300万円<br>施工額 B =B - B <b>200万円</b> | E社<br>請負額 300万円 |
|   | C社<br>請負額 C 200万円<br>下請額 C 100万円<br>施工額 C =C - C 100万円                        | F社<br>請負額 100万円 |
|   | <b>D社(市内本店事業者)</b><br>請負額 D 100万円<br>下請額 D 0万円<br>施工額 D =D - D <b>100万円</b>   |                 |

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合

$$\begin{aligned} &= (\text{元請と1次下請の市内事業者施工額合計}) \div (\text{元請と1次下請の施工額合計}) \times 100 \\ &= (A + B + D) \div (A + B + C + D) \times 100 \\ &= 500 \text{万円} \div 600 \text{万円} \times 100 \quad \underline{\underline{83\%}} \text{(小数点以下切り捨て)} \end{aligned}$$

- 2 元請が特定JVである場合は、その代表者を含む全構成員のうち、宇都宮市内に本店を有する事業者の出資比率の合計(%)を元請の施工額Aに乗じた額を、宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額とみなす。

例)上記の例で、元請が特定JVで、出資比率【代表者(市外事業者)50%、構成員1(市内事業者)30%、構成員2(市内事業者)20%】の場合

宇都宮市内に本店を有する事業者の元請施工額

$$= A \times (30\% + 20\%) = 200 \text{万円} \times 50\% = 100 \text{万円}$$

元請と1次下請における宇都宮市内に本店を有する事業者の施工割合

$$\begin{aligned} &= (100 \text{万円} + B + D) \div (A + B + C + D) \times 100 \\ &= 400 \text{万円} \div 600 \text{万円} \times 100 \quad \underline{\underline{66\%}} \text{(小数点以下切り捨て)} \end{aligned}$$

- 3 誓約書の内容の履行状況は、完成時に下請体制表により確認する。誓約書の内容が履行されない場合は、工事成績評定点を減ずる措置を行う。工事成績評定点の減点は、審査項目「法令遵守等」の文書注意相当とし最大2点を減点する。